

# 教員業績

オヤマダ ケイイチ

氏名 小山田 圭一

職名	助教
専門分野	中世哲学、形而上学、論理学
最終学歴	東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程修了
学位	博士(学術)

## 学術論文・学会発表等

2007年	(学術論文) A System of Ontology Based on Identity and Partial Ordering as an Adequate Logical Apparatus for Describing Taxonomical Structures of Concepts (共)[藁谷敏晴] <Annals of the Japan Association for Philosophy of Science, 科学基礎論学会>
2011年	(学術論文) 述定と名辞の単称性に関する三つの原理に基づく論理的存在論(共)[藁谷敏晴] <『科学基礎論研究』科学基礎論学会>
2014年	(学術論文) 神は自らを無に帰することができるか——トマスの体系における絶対的無の可能性(単) <『中世哲学研究(VERITAS)』京大中世哲学研究会>
2015年	(学術論文) 「全能omnipotentia」は何を表示するのか——トマス・アキナスにおける神の能力と被造物との関係(単) <『筑波哲学』筑波大学哲学研究会>
2015年	(学術論文) トマス・アキナスにおける<現実態における無限の多>について(単) <『中世思想研究』中世哲学会>
2017年	(学術論文) 最高から最深への因果——トマス・アキナスにおける最高原因の能力と働きへの道(単) <『中世思想研究』中世哲学会>
2019年	(学術論文) なぜ一なる存在が多くの存在を発出するのか——トマス・アキナスにおける一多問題の一考察(単) <『中世思想研究』中世哲学会>
2020年	(学術論文) 存在の完全性としての能働と一多問題——トマス・アキナスにおける多くのものがあることの根拠としての存在(単) <『中世哲学研究(VERITAS)』京大中世哲学研究会>
2024年	(学術論文) トマス・アキナスにおける存在分割の原理としての本質について(単) <『哲学』日本哲学会>
2025年	(学術論文) なぜ何も無いのではなく何かが在るのか——ブラバンティアのシゲルスにおける有神論的探求(単) <『中世哲学研究(VERITAS)』京大中世哲学研究会>

## 所属学会等

中世哲学会、京大中世哲学研究会、日本哲学会